



市長は長久手をどんなまちにしたいか、そのために何に取り組もうとしているのか。その想いを市長の語り口でお伝えします。みなさんと語り合うように、一緒に未来の長久手のことを考えてみましょう。

また、市HP【[によげがもん](#)】もぜひご覧ください。
[市HPのトップページから「によげがもん」をクリック。]



地域で見守ろう

4月6日、市内の6小学校で入学式が行われ、新一年生758人が、小学校の門をくぐりました。その際、祝辞として次のことをお話しさせていただきました。

今、みなさんは、「学校では、どんなことをするのか」「新しい友達はできるかな」と、わくわくしたり、どきどきしたりしていると思います。わからないことは、先生や上級生のお兄さん、お姉さんに何でも聞いてください。みなさんも、困っているお友達がいたら、お友達の目を見て、にっこりと笑って、「どうしたの?」「大丈夫?」と声を掛けてあげてください。そうやって、みんなで助け合って、仲よく、楽しく過ごしてほしいと思います。

もう一つ、みなさんにもお願いがあります。

毎朝、起きたら、必ず、おうちの人に「おはよう」とあいさつをしましょう。

学校の行き帰りには、大勢の人が、みなさんが交通事故に遭わないように、悪い人に連れて行かれないように、見守ってくれています。みなさんは、「おはようございます」「こんにちば」と言うことで、お礼の気持ちを伝えてください。

保護者の皆様、本日は、誠におめでとうございます。お子様にとって、これからは毎日が新しい発見の連続です。ぜひ、お子様の話を、目を見ながら聞いてあげてください。他の子どもさんと比べるとではなく、ご自身のお子様の成長と一緒に喜び、ぎゅっと抱きしめて、褒めてあげてほしいと思います。そして、先ほど、お子さんにもお願いをしましたが、毎朝を「おはよう」から始めていただきたいと思います。

人が幸せだと感じる要素は4つあり、それは「必要とされること」「愛されること」「役に立つこと」「褒められること」だそうです。

毎朝、「おはよう」と言ってもらえるだけでも、子どもたちは「自分はここに居ていいんだ」という安心感を持ち、幸せを感じることができるのです。

そして、近所のお子さんにも、あいさつだけではなく、「今日は元気ないね。大丈夫?」といった声掛けを行っていただき、地域全体で子ども達を見守っていただきたいと思います。



児童とボランティアさんの登校の様子

全国で、子どもをめぐる痛ましい事件が発生しています。埼玉県朝霞市で発生した監禁事件では、犯人は「田舎過ぎず、都会過ぎない場所」を選んだと自供しています。まさしく長久手市はそのような場所で、あのような事件がいつ起きてもおかしくないのです。子どもが巻きこまれる事件を防ぐためにも、登下校の時間帯にごみ出しや、散歩などをしていただき、地域全体で子どもを見守ろうではありませんか。



この広報紙の無断転載を禁じます。視覚障がい者のみなさんにも家族から読んであげてください。

表紙の写真もう一枚

楽しく遊びながら、公共交通のことを知ってもらうために、公共交通応援隊キッズイベントグループが「みんなで育む公共交通交流会」を開催しました。Nバスと同じ大きさの紙にみんなでくがきをしてNバスにラッピングする企画や、リノモをみんなで作る企画などを行い、多くの家族連れでにぎわいました。

スマートフォンで広報ながくてを持ち歩こう!

App Store Google Play 「ながくて」で検索 ▶ダウンロード



この広報紙は、植物油インキを使用しています。

